

令和2年度

財務報告書

統一的な基準に基づく財務書類

八峰町

内容

| | |
|-------------------------------|----|
| I はじめに | 4 |
| (1) 作成の経緯と意義 | 4 |
| II 財務書類の作成基準 | 5 |
| (1) 作成方法 | 5 |
| (2) 作成基準日 | 5 |
| (3) 作成範囲 | 5 |
| III 財務書類の相関図 | 6 |
| IV 財務書類の内容 | 7 |
| (1) 貸借対照表 | 7 |
| 貸借対照表の分析（一般会計等、全体会計） | 7 |
| (2) 行政コスト計算書 | 9 |
| 行政コスト計算書の分析（一般会計等、全体会計） | 9 |
| (3) 純資産変動計算書 | 11 |
| 純資産変動計算書の分析（一般会計等、全体会計） | 11 |
| (4) 資金収支計算書 | 12 |
| 資金収支計算書の分析（一般会計等、全体会計） | 12 |
| V 資料編 | 13 |
| VI 用語解説 | 26 |

I はじめに

作成の経緯と意義

地方公共団体における会計は、民間企業（株式会社）が採用している複式簿記による発生主義会計ではなく単式簿記による現金主義会計を採用しています。地方公共団体の会計は、現金収支を議会の民主的統制下に置くことで予算の適正・確実な執行を図るという目的があるため、その観点からみると単式簿記による現金主義会計が確定性、客観性、透明性に優れているからです。

単式簿記による現金主義会計は予算管理の点では優れていますが、ストック情報（資産・負債）の一覧的把握をすることができない、また、現金支出を伴わないコスト（減価償却費、退職手当引当金等）を把握することができないという欠点があります。財務の透明性を高め、住民や議会等に対する説明責任をより適切に図るためにも、その補完として複式簿記による発生主義会計の導入の必要性が高まりました。

また、複式簿記による発生主義会計を導入することで、ストック情報と現金支出を伴わないコストも含めたフルコストでのフロー情報の把握が可能となりますので、公共施設等の将来更新必要額の推計や、事業別・施設別のセグメント分析など、公共施設等のマネジメントへの活用充実につなげることも可能となります。さらに、財務書類の作成過程で整備される固定資産台帳を公表することで、民間企業からPPP/PFIに関する積極的な提案がなされることも期待することができます。

【地方公共団体と民間企業の会計】

| 項目 | 地方公共団体(官庁会計) | 民間企業(企業会計) |
|--------|---|---|
| 作成目的 | 住民の福祉の増進 | 利益の追求 |
| 報告主体 | 首長 | 取締役 |
| 報告先 | 住民(提出先は議会) | 株主(提出先は株主総会) |
| 説明責任 | 議会の承認・認定(予算・決算) →事前統制(予算)の重視 | 株主総会の承認(決算) →事後統制(決算)の重視 |
| 簿記方式 | 単式簿記 | 複式簿記 |
| 認識基準 | 現金主義会計 | 発生主義会計 |
| 出納整理期間 | あり | なし |
| 決算書類 | 歳入歳出決算書 歳入歳出決算事項別明細書 実質収支に関する調書 財産に関する調書 | 貸借対照表 損益計算書 株主資本等変動計算書 キャッシュフロー計算書 |

II 財務書類の作成基準

(1) 作成方法

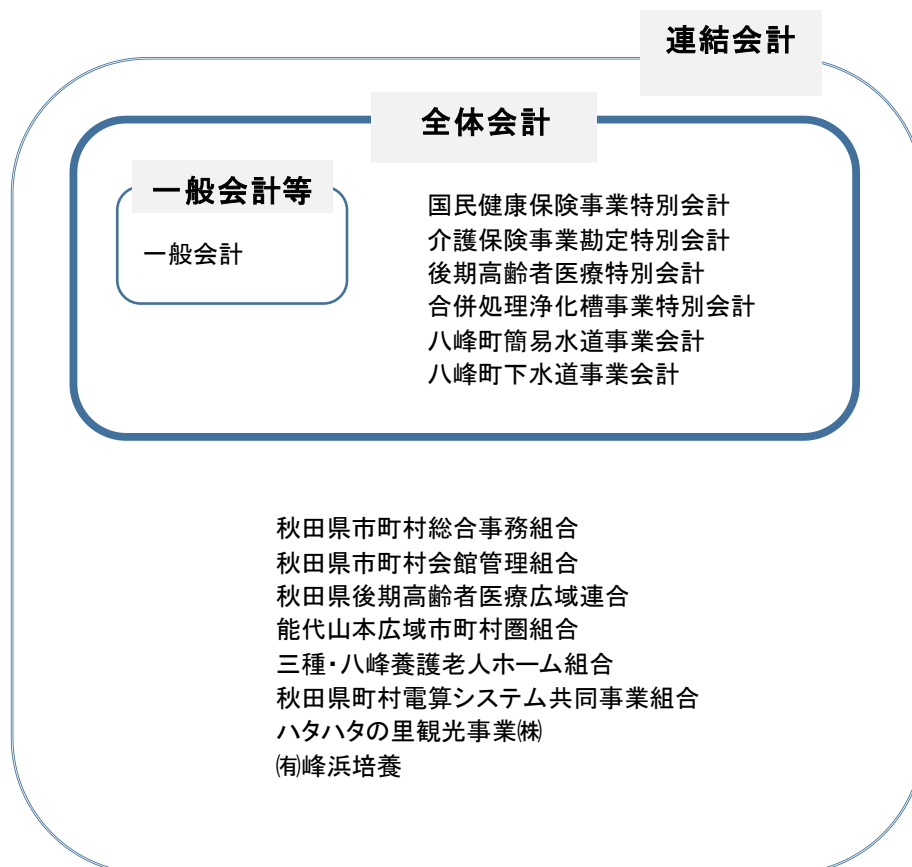
「統一的な基準による地方公会計マニュアル（令和元年 8 月改訂）」に基づいて作成しています。

(2) 作成基準日

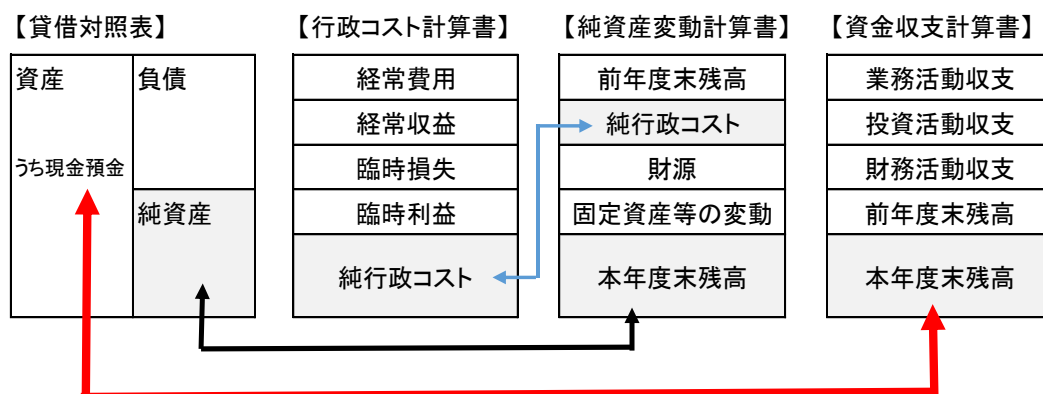
令和 2 年度末日（令和 3 年 3 月 31 日）

(3) 作成範囲

財務書類は、一般会計と地方公営事業会計以外の特別会計からなる「一般会計等」、一般会計等に公営事業会計を加えた「全体会計」、さらに関連団体を加えた「連結会計」の 3 種類があります。



Ⅲ財務書類の相関図



- ① 貸借対照表の資産のうち「現金預金」の金額は、資金収支計算書の本年度末残高に本年度末歳計外現金残高を足したものと対応します
- ② 貸借対照表の「純資産」の金額は、資産と負債の差額として計算されますが、これは純資産変動計算書の期末残高と対応します。
- ③ 行政コスト計算書の「純行政コスト」の金額は、純資産変動計算書に記載されま
す。

IV財務書類の内容

(1) 貸借対照表

貸借対照表はバランスシートとも呼ばれ、年度末時点での資産（道路や学校などの固定資産、現金預金、基金など）と負債（地方債など）の残高を表したものです。

(単位：千円)

| | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 固定資産 | 16,769,573 | 27,004,670 | 27,730,089 |
| 有形固定資産 | 14,812,155 | 25,250,187 | 25,750,642 |
| 事業用資産 | 7,663,041 | 7,663,041 | 8,056,865 |
| インフラ資産 | 6,784,024 | 16,221,349 | 16,221,349 |
| 投資その他の資産 | 1,957,418 | 1,737,820 | 1,961,805 |
| 投資及び出資金 | 500,691 | 200,715 | 60,640 |
| 基金 | 1,489,102 | 1,543,410 | 1,852,626 |
| 流動資産 | 3,238,476 | 3,631,762 | 4,018,800 |
| 現金預金 | 334,472 | 702,582 | 906,924 |
| 未収その他 | 2,904,004 | 2,929,180 | 3,111,876 |
| 資産合計 | 20,008,049 | 30,636,431 | 31,748,888 |
| 固定負債 | 6,672,000 | 15,250,454 | 15,570,855 |
| 地方債等 | 6,151,552 | 9,255,409 | 9,356,920 |
| 退職手当引当金ほか | 520,448 | 5,995,045 | 6,213,935 |
| 流動負債 | 891,681 | 1,207,068 | 1,266,085 |
| 1年内償還予定地方債等 | 788,015 | 1,084,032 | 1,106,237 |
| 賞与引当金ほか | 103,666 | 123,036 | 159,848 |
| 負債合計 | 7,563,681 | 16,457,522 | 16,836,940 |
| 固定資産等形成分 | 19,666,468 | 29,901,565 | 30,646,030 |
| 余剰分（不足分） | △ 7,222,100 | △ 15,722,656 | △ 15,734,082 |
| 純資産合計 | 12,444,368 | 14,178,909 | 14,911,948 |
| 負債及び純資産合計 | 20,008,049 | 30,636,431 | 31,748,888 |

貸借対照表の分析（一般会計等、全体会計）

| 分析 | 一般会計等 | 全体会計 | 単位 |
|-------------|-------|-------|----|
| 住民一人当たり資産額 | 2,944 | 4,508 | 千円 |
| 歳入額対資産比率 | 2.63 | 3.08 | 年 |
| 有形固定資産減価償却率 | 69.3 | 53.9 | % |
| 純資産比率 | 62.2 | 46.3 | % |
| 将来世代負担比率 | 46.9 | 40.9 | % |
| 住民一人当たり負債額 | 1,113 | 2,422 | 千円 |
| 債務償還可能年数 | 8.1 | 10.0 | 年 |

【住民一人当たり資産額】 資産合計÷人口（令和2年度末時点 6,796人）

貸借対照表の資産額を住民一人あたりに置き換えるといくらになるかを表しています。

【歳入額対資産比率】 資産合計÷歳入総額

これまでに形成された資産が歳入の何年分に相当するかを表し、資産形成の度合いを測ることができます。

【有形固定資産減価償却率】

減価償却累計額÷（有形固定資産合計－土地等の非償却資産＋減価償却累計額）×100

有形固定資産のうち償却資産（時の経過により価値が劣化していく資産）の取得価額に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することができます。数字が高い場合は資産の老朽化が進んでいて取替更新時期が近づいている事を表します。

【純資産比率】 純資産合計÷資産合計×100

純資産は資産と負債の差額であり、負債は将来世代が負担しなければならない借金です。一方純資産は過去から現在までの毎年の収支差額の累積額（＝余剰金）、すなわち、「過去から現在までの世代が負担してきたもの」と見ることができます。純資産比率が高いということは負債が少ないともいえますが、現世代が自らの負担によって将来世代も利用可能な資源を蓄積したとも捉えることができますので、現世代と将来世代の負担のバランスが大切になります。

【将来世代負担比率】 地方債（一年以内返済分も含む）÷有形・無形固定資産×100

有形固定資産の形成にかかる費用が、将来返済が必要な地方債によってどの程度まかなわれているか見ることにより、現世代と将来世代の負担の比重を把握することができます。この数値が高いと社会資本に対する将来世代の負担が大きいことを表します。

【住民一人当たり負債額】 負債合計÷人口

貸借対照表の負債額を住民一人あたりに置き換えるといくらになるかを表しています。

【債務償還可能年数】 地方債（一年以内返済分も含む）÷業務活動収支額

債務を返済するための原資を経常的に確保できる資金で返済した場合に何年で返済することができるかを示す指標で、債務返済能力をみることができます。債務償還可能年数が短いほど債務償還の力が高いといえます。

(2) 行政コスト計算書

会計年度中に行った行政活動のうち、資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費を経常行政コストとして、また、その行政サービスに対する、使用料や手数料などの受益者負担額を経常収益として表したものです。

(単位：千円)

| | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|----------|-----------|-----------|------------|
| 経常費用 | 6,167,144 | 8,661,019 | 10,891,753 |
| 業務費用 | 3,216,325 | 4,139,717 | 5,207,508 |
| 人件費 | 1,217,547 | 1,257,255 | 1,637,267 |
| 物件費等 | 1,961,315 | 2,673,385 | 3,093,298 |
| 物件費 | 833,897 | 984,764 | 1,304,590 |
| 維持補修費 | 103,141 | 132,598 | 175,187 |
| 減価償却費 | 953,118 | 1,484,260 | 1,541,498 |
| その他 | 71,159 | 71,763 | 72,024 |
| その他業務費用 | 37,463 | 209,077 | 476,942 |
| 移転費用 | 2,950,819 | 4,521,302 | 5,684,245 |
| 経常収益 | 121,009 | 278,169 | 868,988 |
| 使用料及び手数料 | 70,523 | 223,402 | 240,130 |
| その他 | 50,487 | 54,766 | 628,858 |
| 純経常行政コスト | 6,046,135 | 8,382,850 | 10,022,765 |
| 臨時損失 | △ 2,732 | 9,395 | 10,936 |
| 臨時利益 | 2,727 | 2,727 | 2,738 |
| 純行政コスト | 6,040,676 | 8,389,518 | 10,030,964 |

行政コスト計算書の分析（一般会計等、全体会計）

| 分析 | 一般会計等 | 全体会計 | 単位 |
|--------------|-------|-------|----|
| 住民一人当たり行政コスト | 907 | 1,274 | 千円 |
| 行政コスト対税収等比率 | 145.5 | 161.4 | % |
| 受益者負担比率 | 2.0 | 3.2 | % |

【住民一人当たり行政コスト】 経常費用 ÷ 人口

行政コスト計算書で算出される経常費用（行政コスト）を住民一人あたりに置き換えるといくらになるかを表します。

【行政コスト対税収等比率】 純経常行政コスト ÷ 税収 × 100

税収等の一般財源等に対する行政コストの比率を算出することによって当該年度の税収等のうち、どれだけが資産形成を伴わない行政コストに費消されたのかを把握することができます。この比率が 100% に近づくほど資産形成の余裕度が低いといえます。

【受益者負担比率】 経常収益 ÷ 経常費用（純経常行政コスト） × 100

行政コスト計算書における経常収益は使用料や手数料といった受益者の負担金額であるため、経常収益の行政コストに対する割合を算出することにより行政サービスを利用する人が負担している割合をみることができます。

(3) 純資産変動計算書

純資産（資産－負債）が会計年度中にどのような要因で変動したのかを、財源（税収、補助金）、固定資産等の内部変動、資産評価差額、無償所管換などに区分して表したものです。

（単位：千円）

| | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|----------------|-------------|-------------|--------------|
| 前年度末純資産残高 | 12,526,735 | 11,058,563 | 11,808,924 |
| 純行政コスト（△） | △ 6,040,676 | △ 8,389,518 | △ 10,030,964 |
| 財源 | 5,951,341 | 8,144,890 | 9,808,097 |
| 本年度差額 | △ 89,335 | △ 244,628 | △ 222,866 |
| 固定資産等の変動（内部変動） | - | - | - |
| 資産評価差額 | - | - | - |
| 無償所管換等 | 6,969 | △ 1,902,312 | △ 1,902,279 |
| その他 | - | 5,267,287 | 5,228,169 |
| 本年度純資産変動額 | △ 82,366 | 3,120,347 | 3,103,024 |
| 本年度末純資産残高 | 12,444,368 | 14,178,909 | 14,911,948 |

純資産変動計算書の分析（一般会計等、全体会計）

| 分析 | 一般会計等 | 全体会計 | 単位 |
|------------|-------|-------|----|
| 行政コスト対財源比率 | 101.5 | 103.0 | % |

【行政コスト対財源比率】 純行政コスト÷財源×100

行政運営を行うためにかかる費用に対する税収等の割合を算出することにより、収入で費用がどの程度まかなうことができているかをみることができます。

(4) 資金収支計算書

キャッシュフロー計算書とも呼ばれ、現金ベースで一年間の資金の流れ、収支を見るもので、業務活動収支（行政活動による収入と支出）、投資活動収支（固定資産の取得等にかかる支出）、財務活動収支（地方債の発行や返済による収入と支出）の3区分に分けて表しています。

(単位：千円)

| | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| 業務支出 | 5,154,581 | 7,023,716 | 9,197,812 |
| 業務費用支出 | 2,203,762 | 2,502,414 | 3,513,567 |
| 移転費用支出 | 2,950,819 | 4,521,302 | 5,684,245 |
| 業務収入 | 4,779,759 | 6,834,805 | 9,097,204 |
| 臨時支出 | - | 8,467 | 8,467 |
| 臨時収入 | 1,227,037 | 1,227,172 | 1,227,172 |
| 業務活動収支 | 852,214 | 1,029,794 | 1,118,097 |
| 投資活動支出 | 1,351,084 | 1,147,717 | 1,171,499 |
| 投資活動収入 | 550,145 | 723,525 | 740,396 |
| 投資活動収支 | △ 800,940 | △ 424,192 | △ 431,103 |
| 財務活動支出 | 795,032 | 1,084,238 | 1,101,271 |
| 財務活動収入 | 726,200 | 655,438 | 715,438 |
| 財務活動収支 | △ 68,832 | △ 428,800 | △ 385,833 |
| 本年度資金収支額 | △ 17,558 | 176,802 | 301,162 |
| 前年度末資金残高 | 327,680 | 501,431 | 580,876 |
| 本年度末資金残高 | 310,122 | 678,233 | 882,038 |

資金収支計算書の分析（一般会計等、全体会計）

| 分析 | 一般会計等 | 全体会計 | 単位 |
|---------------------|---------|---------|----|
| 基礎的財政収支(プライマリーバランス) | △ 1,229 | 595,468 | 千円 |

【基礎的財政収支（プライマリーバランス）】

地方債の発行収入を除いた歳入と地方債等の元利償還額を除いた歳出の差のことで、その時点で必要とされる経費を、その時点の税収等でどれだけまかなえているかを示す指標です。プライマリーバランスがプラスということは、地方債の発行に頼らずにその年の町民の税負担などで町民生活に必要な支出がまかなえている状態を意味します。逆に、プライマリーバランスがマイナスということは、地方債等を発行しないと支出をまかなえないことを意味します。

V 資料編

一般会計等

貸借対照表
(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|------------|----------------|------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 16,769,573 | 固定負債 | 6,672,000 |
| 有形固定資産 | 14,812,155 | 地方債 | 6,151,552 |
| 事業用資産 | 7,663,041 | 長期未払金 | 25,517 |
| 土地 | 2,393,526 | 退職手当引当金 | 493,739 |
| 立木竹 | 29,035 | 損失補償等引当金 | 1,192 |
| 建物 | 14,169,705 | その他 | - |
| 建物減価償却累計額 | -9,651,270 | 流動負債 | 891,681 |
| 工作物 | 1,590,497 | 1年内償還予定地方債 | 788,015 |
| 工作物減価償却累計額 | -1,168,725 | 未払金 | 5,352 |
| 船舶 | - | 未払費用 | - |
| 船舶減価償却累計額 | - | 前受金 | - |
| 浮標等 | - | 前受収益 | - |
| 浮標等減価償却累計額 | - | 賞与等引当金 | 73,964 |
| 航空機 | - | 預り金 | 24,349 |
| 航空機減価償却累計額 | - | その他 | - |
| その他 | - | 負債合計 | 7,563,681 |
| その他減価償却累計額 | - | 【純資産の部】 | |
| 建設仮勘定 | 300,272 | 固定資産等形成分 | 19,666,468 |
| インフラ資産 | 6,784,024 | 余剰分(不足分) | -7,222,100 |
| 土地 | 5 | | |
| 建物 | - | | |
| 建物減価償却累計額 | - | | |
| 工作物 | 14,769,207 | | |
| 工作物減価償却累計額 | -7,985,188 | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | - | | |
| 物品 | 2,719,308 | | |
| 物品減価償却累計額 | -2,354,218 | | |
| 無形固定資産 | - | | |
| ソフトウェア | - | | |
| その他 | - | | |
| 投資その他の資産 | 1,957,418 | | |
| 投資及び出資金 | 500,691 | | |
| 有価証券 | 65,795 | | |
| 出資金 | 134,920 | | |
| その他 | 299,976 | | |
| 投資損失引当金 | -54,042 | | |
| 長期延滞債権 | 23,953 | | |
| 長期貸付金 | 382 | | |
| 基金 | 1,489,102 | | |
| 減債基金 | - | | |
| その他 | 1,489,102 | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | -2,668 | | |
| 流動資産 | 3,238,476 | | |
| 現金預金 | 334,472 | | |
| 未収金 | 8,000 | | |
| 短期貸付金 | - | | |
| 基金 | 2,896,895 | | |
| 財政調整基金 | 2,845,488 | | |
| 減債基金 | 51,407 | | |
| 棚卸資産 | - | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | -891 | | |
| 資産合計 | 20,008,049 | 純資産合計 | 12,444,368 |
| | | 負債及び純資産合計 | 20,008,049 |

行政コスト計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|-----------|
| 経常費用 | 6,167,144 |
| 業務費用 | 3,216,325 |
| 人件費 | 1,217,547 |
| 職員給与費 | 712,231 |
| 賞与等引当金繰入額 | 17,481 |
| 退職手当引当金繰入額 | 105,803 |
| その他 | 382,032 |
| 物件費等 | 1,961,315 |
| 物件費 | 833,897 |
| 維持補修費 | 103,141 |
| 減価償却費 | 953,118 |
| その他 | 71,159 |
| その他の業務費用 | 37,463 |
| 支払利息 | 28,078 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 3,560 |
| その他 | 5,825 |
| 移転費用 | 2,950,819 |
| 補助金等 | 2,261,640 |
| 社会保障給付 | 358,238 |
| 他会計への繰出金 | 322,990 |
| その他 | 7,951 |
| 経常収益 | 121,009 |
| 使用料及び手数料 | 70,523 |
| その他 | 50,487 |
| 純経常行政コスト | 6,046,135 |
| 臨時損失 | -2,732 |
| 災害復旧事業費 | - |
| 資産除売却損 | - |
| 投資損失引当金繰入額 | -1,541 |
| 損失補償等引当金繰入額 | -1,191 |
| その他 | - |
| 臨時利益 | 2,727 |
| 資産売却益 | 2,727 |
| その他 | - |
| 純行政コスト | 6,040,676 |

一般会計等

純資産変動計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 合計 | 固定資産 等形成分 | | 余剰分 (不足分) |
|----------------|------------|--------------|------------|--------------|
| | | | | |
| 前年度末純資産残高 | 12,526,735 | 19,744,470 | -7,217,735 | |
| 純行政コスト(△) | -6,040,676 | | -6,040,676 | |
| 財源 | 5,951,341 | | 5,951,341 | |
| 税収等 | 4,154,736 | | 4,154,736 | |
| 国県等補助金 | 1,796,605 | | 1,796,605 | |
| 本年度差額 | -89,335 | | -89,335 | |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | -84,970 | 84,970 | |
| 有形固定資産等の増加 | | 1,049,840 | -1,049,840 | |
| 有形固定資産等の減少 | | -1,054,167 | 1,054,167 | |
| 貸付金・基金等の増加 | | 410,236 | -410,236 | |
| 貸付金・基金等の減少 | | -490,880 | 490,880 | |
| 資産評価差額 | - | - | | |
| 無償所管換等 | 6,969 | 6,969 | | |
| その他 | - | - | | |
| 本年度純資産変動額 | -82,366 | -78,001 | -4,365 | |
| 本年度末純資産残高 | 12,444,368 | 19,666,468 | -7,222,100 | |

資金収支計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|-----------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 5,154,581 |
| 業務費用支出 | 2,203,762 |
| 人件費支出 | 1,159,220 |
| 物件費等支出 | 1,010,861 |
| 支払利息支出 | 28,078 |
| その他の支出 | 5,603 |
| 移転費用支出 | 2,950,819 |
| 補助金等支出 | 2,261,640 |
| 社会保障給付支出 | 358,238 |
| 他会計への繰出支出 | 322,990 |
| その他の支出 | 7,951 |
| 業務収入 | 4,779,759 |
| 税込等収入 | 4,150,509 |
| 国県等補助金収入 | 508,241 |
| 使用料及び手数料収入 | 70,523 |
| その他の収入 | 50,487 |
| 臨時支出 | - |
| 災害復旧事業費支出 | - |
| その他の支出 | - |
| 臨時収入 | 1,227,037 |
| 業務活動収支 | 852,214 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 1,351,084 |
| 公共施設等整備費支出 | 645,661 |
| 基金積立金支出 | 200,447 |
| 投資及び出資金支出 | 299,976 |
| 貸付金支出 | 205,000 |
| その他の支出 | - |
| 投資活動収入 | 550,145 |
| 国県等補助金収入 | 61,327 |
| 基金取崩収入 | 281,029 |
| 貸付金元金回収収入 | 205,062 |
| 資産売却収入 | 2,727 |
| その他の収入 | - |
| 投資活動収支 | -800,940 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 795,032 |
| 地方債償還支出 | 795,032 |
| その他の支出 | - |
| 財務活動収入 | 726,200 |
| 地方債発行収入 | 726,200 |
| その他の収入 | - |
| 財務活動収支 | -68,832 |
| 本年度資金収支額 | -17,558 |
| 前年度末資金残高 | 327,680 |
| 本年度末資金残高 | 310,122 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 22,262 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 2,088 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 24,349 |
| 本年度末現金預金残高 | 334,472 |

全体会計

連結貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|------------|------------|-------------|-------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 27,004,670 | 固定負債 | 15,250,454 |
| 有形固定資産 | 25,250,187 | 地方債等 | 9,255,409 |
| 事業用資産 | 7,663,041 | 長期未払金 | 25,517 |
| 土地 | 2,393,526 | 退職手当引当金 | 525,900 |
| 土地減損損失累計額 | - | 損失補償等引当金 | 1,192 |
| 立木竹 | 29,035 | その他 | 5,442,436 |
| 立木竹減損損失累計額 | - | 流動負債 | 1,207,068 |
| 建物 | 14,169,705 | 1年内償還予定地方債等 | 1,084,032 |
| 建物減価償却累計額 | -9,651,270 | 未払金 | 19,697 |
| 建物減損損失累計額 | - | 未払費用 | - |
| 工作物 | 1,590,497 | 前受金 | - |
| 工作物減価償却累計額 | -1,168,725 | 前受収益 | - |
| 工作物減損損失累計額 | - | 賞与等引当金 | 78,789 |
| 船舶 | - | 預り金 | 24,550 |
| 船舶減価償却累計額 | - | その他 | - |
| 船舶減損損失累計額 | - | 負債合計 | 16,457,522 |
| 浮標等 | - | 【純資産の部】 | |
| 浮標等減価償却累計額 | - | 固定資産等形成分 | 29,901,565 |
| 浮標等減損損失累計額 | - | 余剰分(不足分) | -15,722,656 |
| 航空機 | - | 他団体出資等分 | - |
| 航空機減価償却累計額 | - | | |
| 航空機減損損失累計額 | - | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| その他減損損失累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | 300,272 | | |
| インフラ資産 | 16,221,349 | | |
| 土地 | 63,890 | | |
| 土地減損損失累計額 | - | | |
| 建物 | 786,263 | | |
| 建物減価償却累計額 | -23,220 | | |
| 建物減損損失累計額 | - | | |
| 工作物 | 23,672,522 | | |
| 工作物減価償却累計額 | -8,279,005 | | |
| 工作物減損損失累計額 | - | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| その他減損損失累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | 900 | | |
| 物品 | 3,933,215 | | |
| 物品減価償却累計額 | -2,567,417 | | |
| 物品減損損失累計額 | - | | |
| 無形固定資産 | 16,663 | | |
| ソフトウェア | - | | |
| その他 | 16,663 | | |
| 投資その他の資産 | 1,737,820 | | |
| 投資及び出資金 | 200,715 | | |
| 有価証券 | 65,795 | | |
| 出資金 | 134,920 | | |
| その他 | - | | |
| 投資損失引当金 | -54,042 | | |
| 長期延滞債権 | 54,432 | | |
| 長期貸付金 | 382 | | |
| 基金 | 1,543,410 | | |
| 減債基金 | - | | |
| その他 | 1,543,410 | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | -7,076 | | |
| 流動資産 | 3,631,762 | | |
| 現金預金 | 702,582 | | |
| 未収金 | 30,601 | | |
| 短期貸付金 | - | | |
| 基金 | 2,896,895 | | |
| 財政調整基金 | 2,845,488 | | |
| 減債基金 | 51,407 | | |
| 棚卸資産 | 4,080 | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | -2,396 | | |
| 繰延資産 | - | 純資産合計 | 14,178,909 |
| 資産合計 | 30,636,431 | 負債及び純資産合計 | 30,636,431 |

連結行政コスト計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位: 千円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|-----------|
| 経常費用 | 8,661,019 |
| 業務費用 | 4,139,717 |
| 人件費 | 1,257,255 |
| 職員給与費 | 737,677 |
| 賞与等引当金繰入額 | 19,887 |
| 退職手当引当金繰入額 | 111,626 |
| その他 | 388,065 |
| 物件費等 | 2,673,385 |
| 物件費 | 984,764 |
| 維持補修費 | 132,598 |
| 減価償却費 | 1,484,260 |
| その他 | 71,763 |
| その他の業務費用 | 209,077 |
| 支払利息 | 80,441 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 9,472 |
| その他 | 119,164 |
| 移転費用 | 4,521,302 |
| 補助金等 | 4,157,071 |
| 社会保障給付 | 361,495 |
| その他 | 2,735 |
| 経常収益 | 278,169 |
| 使用料及び手数料 | 223,402 |
| その他 | 54,766 |
| 純経常行政コスト | 8,382,850 |
| 臨時損失 | 9,395 |
| 災害復旧事業費 | - |
| 資産除売却損 | 3,660 |
| 投資損失引当金繰入額 | -1,541 |
| 損失補償等引当金繰入額 | -1,191 |
| その他 | 8,467 |
| 臨時利益 | 2,727 |
| 資産売却益 | 2,727 |
| その他 | - |
| 純行政コスト | 8,389,518 |

全体会計

連結純資産変動計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 合計 | 固定資産等形成分 | | |
|----------------|------------|-------------|-------------|---------|
| | | 固定資産等形成分 | 余剰分(不足分) | 他団体出資等分 |
| 前年度末純資産残高 | 11,058,563 | 21,754,788 | -10,696,226 | - |
| 純行政コスト(△) | -8,389,518 | | -8,389,518 | - |
| 財源 | 8,144,890 | | 8,144,890 | - |
| 税収等 | 5,193,974 | | 5,193,974 | - |
| 国県等補助金 | 2,950,916 | | 2,950,916 | - |
| 本年度差額 | -244,628 | | -244,628 | - |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | 10,328,900 | -10,328,900 | |
| 有形固定資産等の増加 | | 23,604,171 | -23,604,171 | |
| 有形固定資産等の減少 | | -13,184,634 | 13,184,634 | |
| 貸付金・基金等の増加 | | 410,242 | -410,242 | |
| 貸付金・基金等の減少 | | -500,880 | 500,880 | |
| 資産評価差額 | - | - | - | |
| 無償所管換等 | -1,902,312 | -1,902,312 | | |
| 他団体出資等分の増加 | | | | - |
| 他団体出資等分の減少 | | | | - |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | - | - | | - |
| その他 | 5,267,287 | -279,811 | 5,547,098 | |
| 本年度純資産変動額 | 3,120,347 | 8,146,777 | -5,026,430 | - |
| 本年度末純資産残高 | 14,178,909 | 29,901,565 | -15,722,656 | - |

連結資金収支計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|------------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 7,023,716 |
| 業務費用支出 | 2,502,414 |
| 人件費支出 | 1,190,699 |
| 物件費等支出 | 1,187,775 |
| 支払利息支出 | 80,441 |
| その他の支出 | 43,499 |
| 移転費用支出 | 4,521,302 |
| 補助金等支出 | 4,157,071 |
| 社会保障給付支出 | 361,495 |
| その他の支出 | 2,735 |
| 業務収入 | 6,834,805 |
| 税収等収入 | 4,901,562 |
| 国県等補助金収入 | 1,662,417 |
| 使用料及び手数料収入 | 216,060 |
| その他の収入 | 54,766 |
| 臨時支出 | 8,467 |
| 災害復旧事業費支出 | - |
| その他の支出 | 8,467 |
| 臨時収入 | 1,227,172 |
| 業務活動収支 | 1,029,794 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 1,147,717 |
| 公共施設等整備費支出 | 742,264 |
| 基金積立金支出 | 200,454 |
| 投資及び出資金支出 | - |
| 貸付金支出 | 205,000 |
| その他の支出 | - |
| 投資活動収入 | 723,525 |
| 国県等補助金収入 | 61,327 |
| 基金取崩収入 | 291,029 |
| 貸付金元金回収収入 | 205,062 |
| 資産売却収入 | 2,727 |
| その他の収入 | 163,381 |
| 投資活動収支 | -424,192 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 1,084,238 |
| 地方債等償還支出 | 1,084,238 |
| その他の支出 | - |
| 財務活動収入 | 655,438 |
| 地方債等発行収入 | 655,438 |
| その他の収入 | - |
| 財務活動収支 | -428,800 |
| 本年度資金収支額 | 176,802 |
| 前年度末資金残高 | 501,431 |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | - |
| 本年度末資金残高 | 678,233 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 22,262 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 2,088 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 24,349 |
| 本年度末現金預金残高 | 702,582 |

連結会計

連結貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 27,730,089 | 固定負債 | 15,570,855 |
| 有形固定資産 | 25,750,642 | 地方債等 | 9,356,920 |
| 事業用資産 | 8,056,865 | 長期未払金 | 25,517 |
| 土地 | 2,465,483 | 退職手当引当金 | 743,175 |
| 土地減損損失累計額 | - | 損失補償等引当金 | 1,192 |
| 立木竹 | 29,035 | その他 | 5,444,052 |
| 立木竹減損損失累計額 | - | 流動負債 | 1,266,085 |
| 建物 | 15,581,455 | 1年内償還予定地方債等 | 1,106,237 |
| 建物減価償却累計額 | -10,760,909 | 未払金 | 44,120 |
| 建物減損損失累計額 | - | 未払費用 | 9,572 |
| 工作物 | 1,632,117 | 前受金 | - |
| 工作物減価償却累計額 | -1,190,588 | 前受収益 | - |
| 工作物減損損失累計額 | - | 賞与等引当金 | 79,050 |
| 船舶 | - | 預り金 | 25,691 |
| 船舶減価償却累計額 | - | その他 | 1,416 |
| 船舶減損損失累計額 | - | 負債合計 | 16,836,940 |
| 浮標等 | - | 【純資産の部】 | |
| 浮標等減価償却累計額 | - | 固定資産等形成分 | 30,646,030 |
| 浮標等減損損失累計額 | - | 余剰分(不足分) | -15,734,082 |
| 航空機 | - | 他団体出資等分 | - |
| 航空機減価償却累計額 | - | | |
| 航空機減損損失累計額 | - | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| その他減損損失累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | 300,272 | | |
| インフラ資産 | 16,221,349 | | |
| 土地 | 63,890 | | |
| 土地減損損失累計額 | - | | |
| 建物 | 786,263 | | |
| 建物減価償却累計額 | -23,220 | | |
| 建物減損損失累計額 | - | | |
| 工作物 | 23,672,522 | | |
| 工作物減価償却累計額 | -8,279,005 | | |
| 工作物減損損失累計額 | - | | |
| その他 | - | | |
| その他減価償却累計額 | - | | |
| その他減損損失累計額 | - | | |
| 建設仮勘定 | 900 | | |
| 物品 | 4,412,184 | | |
| 物品減価償却累計額 | -2,939,755 | | |
| 物品減損損失累計額 | - | | |
| 無形固定資産 | 17,641 | | |
| ソフトウェア | 833 | | |
| その他 | 16,808 | | |
| 投資その他の資産 | 1,961,805 | | |
| 投資及び出資金 | 60,640 | | |
| 有価証券 | 5,795 | | |
| 出資金 | 54,845 | | |
| その他 | - | | |
| 長期延滞債権 | 55,122 | | |
| 長期貸付金 | 382 | | |
| 基金 | 1,852,626 | | |
| 減債基金 | - | | |
| その他 | 1,852,626 | | |
| その他 | 113 | | |
| 徴収不能引当金 | -7,078 | | |
| 流動資産 | 4,018,800 | | |
| 現金預金 | 906,924 | | |
| 未収金 | 127,965 | | |
| 短期貸付金 | - | | |
| 基金 | 2,915,942 | | |
| 財政調整基金 | 2,864,535 | | |
| 減債基金 | 51,407 | | |
| 棚卸資産 | 56,506 | | |
| その他 | 13,872 | | |
| 徴収不能引当金 | -2,409 | | |
| 繰延資産 | - | 純資産合計 | 14,911,948 |
| 資産合計 | 31,748,888 | 負債及び純資産合計 | 31,748,888 |

連結行政コスト計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位: 千円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|------------|
| 経常費用 | 10,891,753 |
| 業務費用 | 5,207,508 |
| 人件費 | 1,637,267 |
| 職員給与費 | 1,083,737 |
| 賞与等引当金繰入額 | 19,966 |
| 退職手当引当金繰入額 | 112,115 |
| その他 | 421,449 |
| 物件費等 | 3,093,298 |
| 物件費 | 1,304,590 |
| 維持補修費 | 175,187 |
| 減価償却費 | 1,541,498 |
| その他 | 72,024 |
| その他の業務費用 | 476,942 |
| 支払利息 | 81,566 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 9,474 |
| その他 | 385,902 |
| 移転費用 | 5,684,245 |
| 補助金等 | 5,314,533 |
| 社会保障給付 | 363,609 |
| その他 | 6,103 |
| 経常収益 | 868,988 |
| 使用料及び手数料 | 240,130 |
| その他 | 628,858 |
| 純経常行政コスト | 10,022,765 |
| 臨時損失 | 10,936 |
| 災害復旧事業費 | - |
| 資産除売却損 | 3,660 |
| 損失補償等引当金繰入額 | -1,191 |
| その他 | 8,467 |
| 臨時利益 | 2,738 |
| 資産売却益 | 2,727 |
| その他 | 11 |
| 純行政コスト | 10,030,964 |

連結会計

連結純資産変動計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 合計 | 固定資産等形成分 | | |
|----------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | | 固定資産等形成分 | 余剰分(不足分) | 他団体出資等分 |
| 前年度末純資産残高 | 11,808,924 | 22,553,471 | -10,744,547 | - |
| 純行政コスト(△) | -10,030,964 | | -10,030,964 | - |
| 財源 | 9,808,097 | | 9,808,097 | - |
| 税収等 | 6,089,784 | | 6,089,784 | - |
| 国県等補助金 | 3,718,314 | | 3,718,314 | - |
| 本年度差額 | -222,866 | | -222,866 | - |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | 10,313,676 | -10,313,676 | |
| 有形固定資産等の増加 | | 23,726,661 | -23,726,661 | |
| 有形固定資産等の減少 | | -13,331,622 | 13,331,622 | |
| 貸付金・基金等の増加 | | 578,452 | -578,452 | |
| 貸付金・基金等の減少 | | -659,815 | 659,815 | |
| 資産評価差額 | - | - | - | |
| 無償所管換等 | -1,902,279 | -1,902,279 | | |
| 他団体出資等分の増加 | | | | - |
| 他団体出資等分の減少 | | | | - |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | -39,054 | -39,812 | 758 | - |
| その他 | 5,267,223 | -279,026 | 5,546,250 | - |
| 本年度純資産変動額 | 3,103,024 | 8,092,559 | -4,989,535 | - |
| 本年度末純資産残高 | 14,911,948 | 30,646,030 | -15,734,082 | - |

連結資金収支計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 9,197,812 |
| 業務費用支出 | 3,513,567 |
| 人件費支出 | 1,571,004 |
| 物件費等支出 | 1,551,928 |
| 支払利息支出 | 81,566 |
| その他の支出 | 309,069 |
| 移転費用支出 | 5,684,245 |
| 補助金等支出 | 5,314,533 |
| 社会保障給付支出 | 363,609 |
| その他の支出 | 6,103 |
| 業務収入 | 9,097,204 |
| 税収等収入 | 5,810,974 |
| 国県等補助金収入 | 2,426,441 |
| 使用料及び手数料収入 | 232,787 |
| その他の収入 | 627,002 |
| 臨時支出 | 8,467 |
| 災害復旧事業費支出 | - |
| その他の支出 | 8,467 |
| 臨時収入 | 1,227,172 |
| 業務活動収支 | 1,118,097 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 1,171,499 |
| 公共施設等整備費支出 | 773,232 |
| 基金積立金支出 | 193,267 |
| 投資及び出資金支出 | - |
| 貸付金支出 | 205,000 |
| その他の支出 | - |
| 投資活動収入 | 740,396 |
| 国県等補助金収入 | 64,702 |
| 基金取崩収入 | 304,525 |
| 貸付金元金回収収入 | 205,062 |
| 資産売却収入 | 2,727 |
| その他の収入 | 163,381 |
| 投資活動収支 | -431,103 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 1,101,271 |
| 地方債等償還支出 | 1,100,515 |
| その他の支出 | 755 |
| 財務活動収入 | 715,438 |
| 地方債等発行収入 | 715,438 |
| その他の収入 | - |
| 財務活動収支 | -385,833 |
| 本年度資金収支額 | 301,162 |
| 前年度末資金残高 | 593,256 |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | -12,380 |
| 本年度末資金残高 | 882,038 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 24,242 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 644 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 24,886 |
| 本年度末現金預金残高 | 906,924 |

VI用語解説

《貸借対照表》

| | |
|---|---|
| <p>【資産の主なもの】</p> <p>◇固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産：庁舎、学校等の事業用資産、道路・橋梁等のインフラ資産など ・投資その他の資産：財調整基金以外の基金、出資金、長期延滞債権など <p>◇流動資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未収金：回収期限が到来して1年を経過していない税や使用料などの債権 ・基金：財政調整基金 ・徴収不能引当金：債権のうち未回収見込額 | <p>【負債の主なもの】</p> <p>◇固定負債</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方債：償還期限が1年超の地方債 <p>◇流動負債</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末日から起算して1年以内に返済期限が到来したり、支払を要するものや既に支払い義務が確定しているものなど |
| | <p>【純資産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産から負債を差し引いた額で、内訳は純資産変動計算書で表示 |

《行政コスト計算書》

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・人件費：職員給与や議員報酬、退職給付費用など ・物件費：備品や消耗品、委託料、使用料、施設維持修繕経費、減価償却費など ・移転費用：住民への補助金や児童福祉、医療費給付にかかる社会保障費など ・使用料及び手数料：公共施設の使用料や各種証明書発行手数料など ・臨時損失：災害復旧事業費、資産の除売却損など臨時に発生するもの ・臨時利益：資産の売却益など臨時に発生するもの |
|--|

《資金収支計算書》

| |
|--|
| <p>◇業務活動収支 行政サービスを行う中で生じる収入と支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務支出：人件費、物件費、補助費、扶助費など ・業務収入：分担金及び負担金、使用料・手数料など |
| <p>◇投資活動収支 資産の形成に関する収入と支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資活動支出：公共施設の整備や貸付金など ・投資活動収入：土地等の固定資産の売却収入や施設建設の財源である補助金など |
| <p>◇財務活動収支 財務活動に関する収入と支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務活動支出：地方債の償還や基金積立金など ・財務活動収入：地方債の発行による収入や基金繰入金など |